

みさとと。

地域づくりを軸とした複眼的視点からの獣害・ひと対策

～おおち山くじら物語・25年間の歩みから～

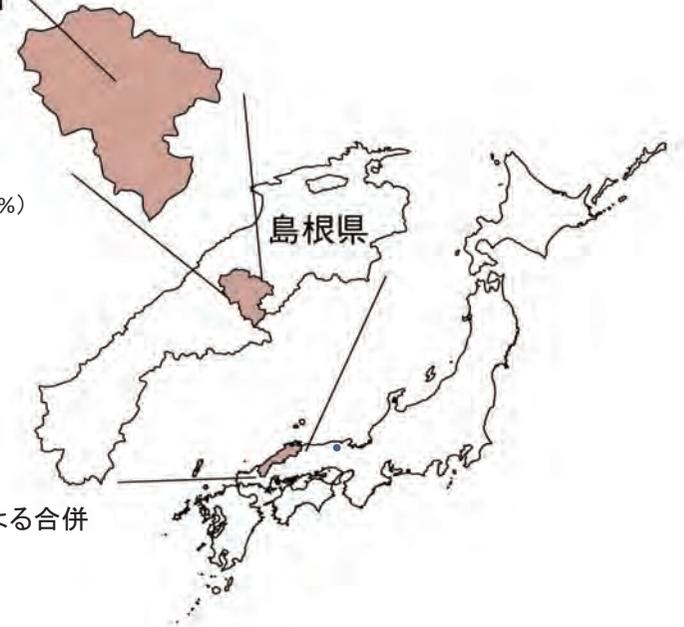


島根県美郷町 美郷バレー課 安田 亮

美郷町

MISATO TOWN

面積 282km²
世帯数 1,847世帯
人口 4,355人(▲11.1%)
高齢化率 48.1%



2004年10月1町1村による合併
邑智町・大和村



おおち山くじら物語

1999年(平成11年)～

- 第1章 (点) 獣害対策の抜本的改革
- 第2章 (線) 夏イノシシ資源利活用
- 第3章 (面) 地域づくり・コミュニティビジネス
- 第4章 定住・雇用・ローカルビジネス

● 第1章～第3章 内発的取組、第4章 共発的取組



● “人”に焦点をあてた取組み “人間模様”
獣害対策 = 人対策 → 人おこし、地域おこし

第5章 美郷バレー構想 (2019年～)

● 獣害対策の基本理念を共有する町外の力を呼び込み、
町の新たな力に変えていく環境づくりを展開

複眼的視点から、視座を高める

1. 住民目線

- ・ 地域住民
- ・ 保育所・小学校保護者
- ・ 地元婦人会 (女性, 特に高齢者)
- ・ 住民活動 (青空サロン・クラフト)

2. 行政目線

- ・ 農業者
- ・ 駆除班員
- ・ おおち山くじら生産者組合, 企業
- ・ 役場庁舎内各課

(教育・産業観光・商工…)

この地で暮らしてよかった + 持続可能な地域おこし(機能循環) = おおち山くじら物語

おおち山くじら物語のはじまり

1997(H9)～1998(H10) 邑智町企画課



「この町の地域おこしとは…？」

1999(H11) 産業振興課 異動



5

第1章 (点) 獣害対策の抜本的改革

1999～2001

獣害対策 ≠ 動物対策

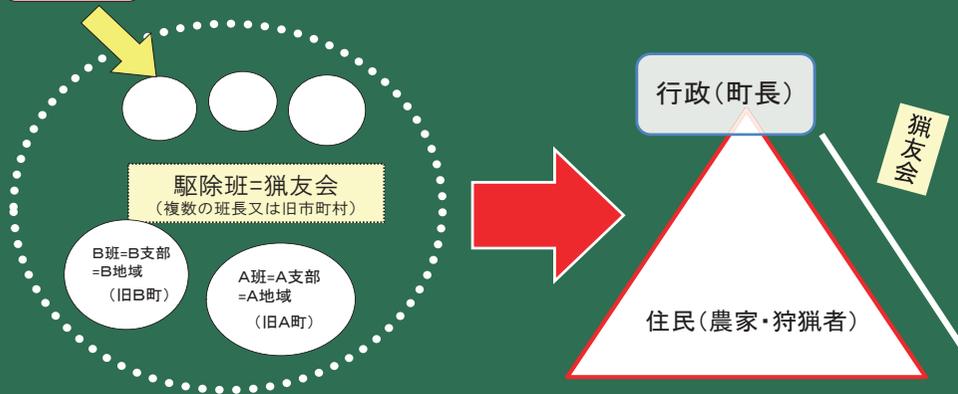
獣害対策 = ひと対策



6

鳥獣対策の捕獲と狩猟の混同を線引き

市町村
(自治体)



ミスマッチの解消

7

背景 獣害対策の形骸化1

ジビエ = 狩猟肉 ・ 秋がジビエの旬

栄養を蓄えた秋の狩猟肉 (ジビエ) が重視され、農作物被害の多発する夏のイノシシは敬遠される (“農業”と“商業”の一連のバランスをいかにとるか)

受益: 農業者・地域住民・行政

受益: 飲食業・狩猟者

農作物被害
(主に春～初秋)
赤身のイノシシ
農業的位置づけ

農

ジビエ(秋)
脂肪のイノシシ
商業的位置づけ

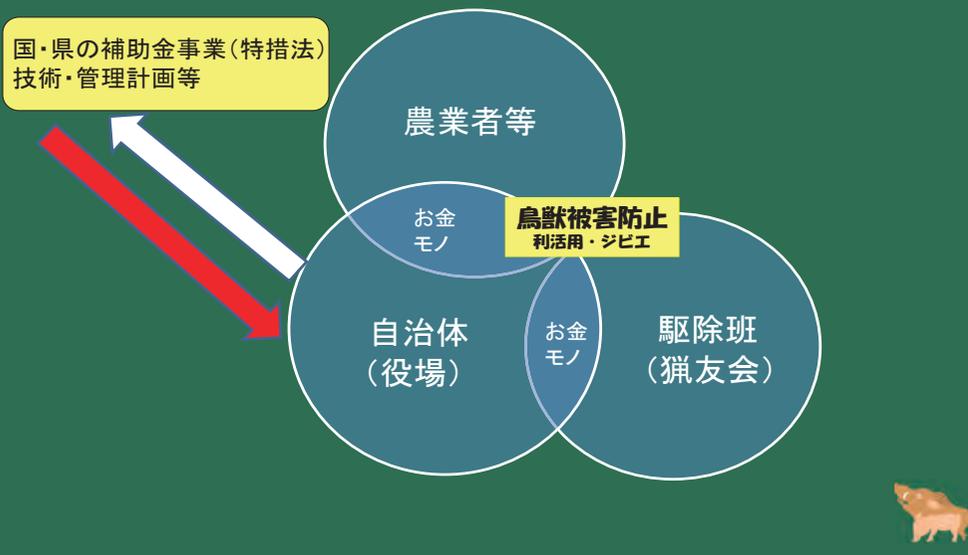
商

採算性低い

採算性



背景 獣害対策の名の下に形骸化2



第2章 (線) 夏イノシシの資源利活用

2000~

獣害対策=ひと対策

ひと対策=人おこし



10

獣害対策をめぐる人間の利害関係は地域づくりの縮図

「この町の地域おこしとは…？」



身近な暮らしの問題解決へのヒント、ノウハウの蓄積

1. 補助金に依存しない、持続可能な地域おこしへの橋渡し
2. 町・農業・狩猟の3者の世界から広く人を巻き込む手段
3. 農業者主体の駆除班の処理労力負担軽減
4. 高齢化するほど機能する駆除班システム・・・



辺境の小さな町が全国に誇れる地域おこしの原石だ！

第3章 (面) 地域づくり・コミュニティビジネス

2003~

ひと対策=人おこし

人おこし=地域おこし

人事異動があっても左右されないシステム・活動環境

内発的な取り組み



住民主体で地域に活動を根付かせる



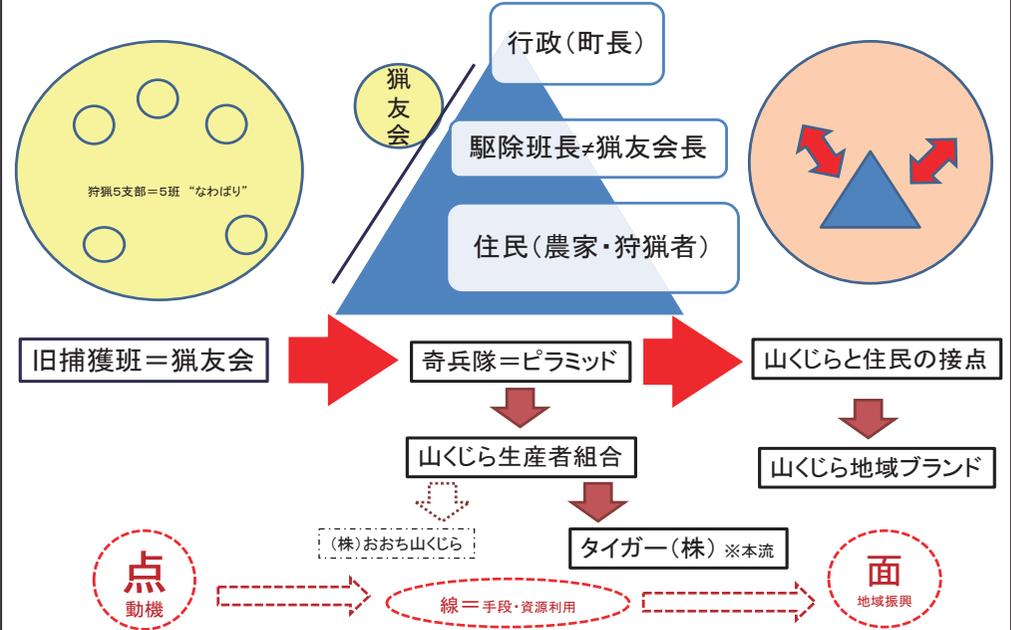
青空クラフト
(イノシシ皮革製品)



青空サロン市場

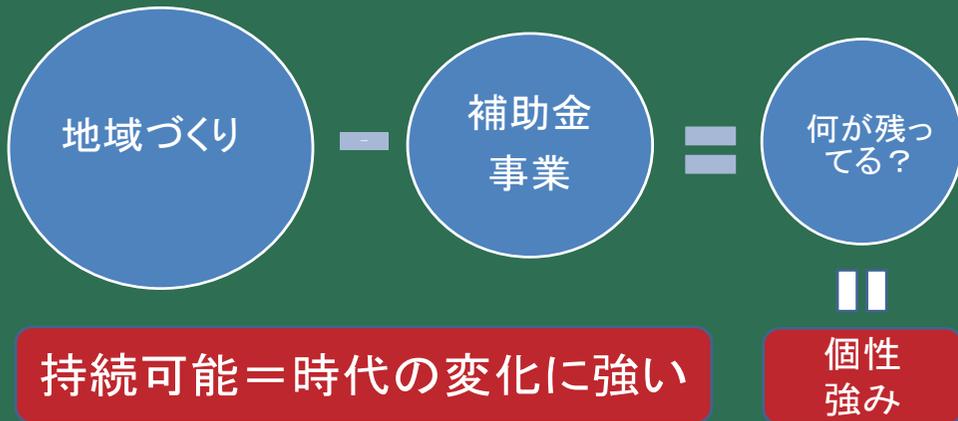
- 農村女性の地域活動への積極的な参加・活躍
- 地域の“たまりば”の再生(=コミュニティの再生・醸成)

おおち山くじら物語 ～第1章～第4章～



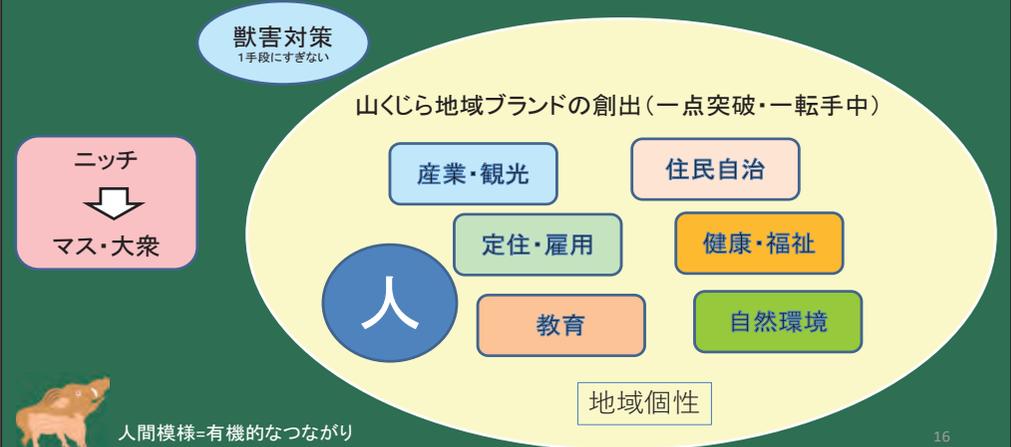
“ひと”に焦点をあてた『おおち山くじら物語』 人をつむいでいくポイント

私の地域づくりの診断書 “身の丈”



山くじらは無限に広がる地域づくりのパズル

山くじら地域ブランドを成長させること ・・・地域づくりの原石を磨くこと



1999年(H11年)からの取り組み

- 動物は昔も今も変わらない
変わり続けるのは人間社会
対策も“ヒト”に焦点を当てた
“ヒト”対策環境(人の行動を捉えコトを動かす)
- 鳥獣対策は地域づくりの診断書
(=地域づくりの縮図)
地域づくりは鳥獣対策のバロメーター

「この町の地域おこしとは…?」

17

鳥獣と人間の闘い

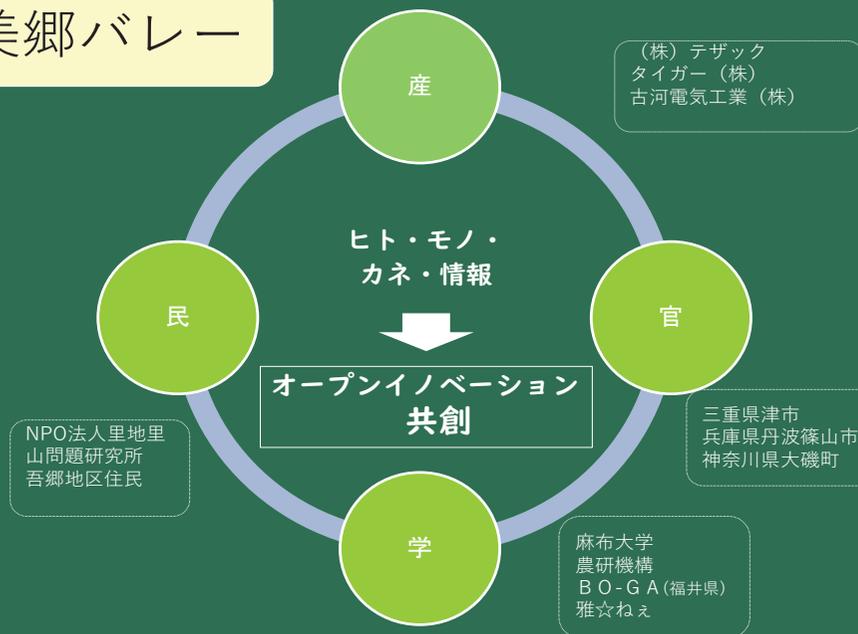


過疎・人口減少の波との闘い

- 成熟した地域・高齢化を前提にした暮らしの事業展開
- 依存体質による失った自立や主体性の喪失を再生

18

美郷バレー



19

おおち山くじら物語 = “ひと”に焦点をあてた取り組み

人おこし=地域おこし

地域おこし=コト(事実)おこし

コトおこし=人と人、人と社会のつながり

背景 : 過疎と人口減少
都市・農村の社会変化

ひと

➔ 獣害問題はいきもの・人間社会によって変化していくもの

鳥獣害問題を鳥獣害対策で捉える時代の終焉(時代錯誤)

共創

活動人口

複眼的視点、視座を高めることが求められる

20

みさと。
とと。

ご清聴ありがとうございました